

は　じ　め　に

平成 30 年度は記録的な自然災害の年でありました。6 月 18 日には震度 6 弱を記録した大阪府北部地震に始まり、同月下旬から 7 月の初旬にかけては台風 7 号がもたらした線状降水帯が長らく停滞した影響で、11 府県に及ぶこれまでには無い広い範囲で大雨特別警報が発令されるなど、西日本を中心に各地に甚大な被害を与えました。また、9 月初めには台風 21 号が 25 年ぶりに非常に強い勢力を維持したまま西日本に上陸、その影響で関西国際空港が高潮によって滑走路やターミナルビルが浸水、漂流したタンカーが連絡橋に激突して空港へのアクセスが一時不能となりました。更にその直後の 9 月 6 日には北海道胆振東部地震が発生、全道で大規模停電（ブラックアウト）を引き起こすなど、これまでには経験したことがないタイプの広域災害が立て続けに発生した一年でした。

本県の保健所職員も災害医療を支援するためこれら被災地へ派遣されましたが、そのたびに新たな課題に直面し医療救護体制の見直しが求められているところです。

なお、被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。

野田健康福祉センター（保健所）は、市の災害医療の体制整備と実施について、助言その他必要な援助を行なうとともに、市の医療救護活動を支援いたします。

また、公衆衛生の第一線の機関として、エボラ出血熱や新型インフルエンザなど海外から持ち込まれる感染症や新興感染症、腸管出血性大腸菌 0-157 による感染症・食中毒など、感染症対策や食中毒対策等の健康危機管理にも取り組んでいます。

更に、地域住民の健康づくり、精神障害者や難病患者への支援、福祉施策の推進等に取り組むとともに、住民の皆様が、安全・安心に暮らせるように、食品衛生・環境衛生の向上、医療機関や医薬品・医療機器に係る許認可や施設の立入検査などの業務も行っています。

この事業年報は、平成 30 年度の野田健康福祉センター（保健所）の事業実績を取りまとめたものです。地域の資料として御活用いただくとともに、センター（保健所）業務に御理解を賜れば幸いに存じます。

今後とも皆様方からの御支援をよろしくお願い申し上げます。

令和元年 11 月

千葉県野田健康福祉センター（野田保健所）長　　松本良二

目

次

I 総括	1
1 沿革	2
2 概要	3
3 管内の状況	4
4 健康相談	7
5 各種委員会	7
6 機構及び事務内容	10
7 職員数及び配置状況	11
II 総務企画課の業務概要	14
1 歳入・歳出決算	16
2 医務関係	18
3 薬務関係	21
4 献血推進事業	24
5 地域保健医療計画の推進	25
6 厚生統計調査	26
7 協議会・委員会の開催状況	31
8 保健所保健・福祉サービス 調整推進事業	31
9 地域保健従事者研修・保健所 実習	32
10 広報・啓発事業	33
11 地域防災対策	34
III 地域保健福祉課の業務概要	36
1 保健師関係指導事業	38
2 母子保健事業	40
3 成人・老人保健事業	46
4 一人ひとりに応じた健康支援 事業	47
5 総合的な自殺対策推進事業	47
6 地域・職域連携推進事業	48
7 栄養改善事業	49
8 歯科保健事業	56
9 精神保健福祉事業	57
10 肝炎治療特別促進事業	64
11 難病対策事業	65
12 市町村支援	71
13 福祉関係事業	73

IV 健康生活支援課の業務概要	82
1 結核予防事業	84
2 感染症予防事業	93
3 エイズ対策事業	101
4 難病相談事業	104
5 原爆被爆者対策事業	108
6 食品衛生事業	109
7 狂犬病予防事業及び動物愛護 管理事業	116
8 環境衛生事業	120
V 資料編	127
1 野田保健所管内 保健・介護 サービス施設	128
2 学会・研究会における発表	129
3 表彰関係一覧表	129
健康福祉センター案内	130

凡 例

- 各表、図は、年とあるものは1月～12月の暦年、年度とあるものは、1月～翌年3月の会計年度である。
- 各表中、年号表示のない資料は、平成30年度分（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
- 各表欄外の注を参照のこと。
- 各表の数字は、単位未満を四捨五入してある。したがって、合計表と内訳の計が一致しない場合がある。
- 各表の符号は、特にことわりのないほかは、次のとおりである。
 - 「0」掲載単位に満たないもの
 - 「-」該当なし
 - 「…」事実不詳又は資料なし
 - 「△」減少を示す